令和7年第11回野洲市教育委員会定例会 議事録

○日 時 令和7年8月19日

開会時刻13時30分

閉会時刻14時37分

○場 所 人権センター 研修室

○出席委員

教育長 北脇 泰久

委 員 本田 亘 委 員 瀬古 良勝

委 員 南出 久仁子 委 員 山崎 玲子

○出席者

教育部長

田中 明美

教育部次長

川崎 小百合

教育部次長（学校教育担当）

小寺 岳正

教育部次長（幼稚園教育担当）

辻村 朗子

こども課長

中野 良博

学務課参事

原嶋 亜紀

生涯学習課長

井狩 吉孝

生涯学習課参事

蜂屋 正雄

ふれあい教育相談センター所長

堀 圭一郎

学校給食センター所長

北田 岳宏

野洲図書館長

早田 ひとし

文化財保護課長

福永 清治

歴史民俗博物館長

大岡 哲也

人権施策推進課係長

辻村 重好

学務課長（事務局）

荒川 貴之

学務課職員（事務局）

枝 瑞紀

【北協教育長】 皆さん、こんにちは。それでは、これより令和7年第11回野洲市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席委員は全員で、定足数に達していますので会議は成立をしています。

次に、日程第1、会期の決定についてですが、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【北協教育長】 ご異議ないようですので、会期は本日1日限りといたします。

次に、日程第2、令和7年第9回定例会議事録の承認についてですが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【北協教育長】 ご異議ないようですので、第9回定例会の議事録は承認されたものと認め、後ほど本田委員と南出委員にご署名をお願いします。

次に、日程第3、令和7年第11回定例会議事録の署名委員の指名についてですが、会議規則第19条第2項の規定により、瀬古委員と山崎委員を指名いたします。

次に、日程第4、教育長事務報告に移ります。

それでは、先月7月23日から8月18日までの事務報告について、別紙をご覧ください。

7月23日からでございますけれども、学校については休みに入っている状況の中で、それぞれ出席依頼があったところについては、できるだけたくさん行かせていただくということで、土曜日や日曜日の休みの日には祭りについても参加させていただいたり、7月29日には近畿・全国の中学校の選手激励会というのもさせていただきました。

31日には、全国公立小中学校事務研究会滋賀大会がびわ湖ホールでございましたので、これに出席させていただいたり、社会教育委員会、男女共同参画審議会、人権施策審議会なども開かれましたので出席をさせていただきました。

また、8月2日には、県の研究協議会、守山野洲大会が守山市役所でありました。市内の管理職の皆さんや多くの一般の協議会に入っておられる方々の参加がありました。また、当日、野洲市の人権教育研究大会が中主小学校を中心に、各分科会会場で行われました。

8月4日には、公立の学校・園の管理職研修会を市の総合防災センターでさせていただきました。

8月8日には国県要望で県庁へ行かせていただいたり、それからいよいよ国スポ障スポがありますが、県のスポーツ大会が8月10日、卓球競技ですけれども、総合体育館で開かれたりもしています。

8月12日には、都市連協の教育長・教育部長の合同会議があり、要望のことについて整理を行わせていただきました。

8月18日、昨日ですが、いじめ問題対策協議会を持たせていただきました。また、臨時の教育委員会も持たせていただき、教科書の採択に関わることをこの人権センターでさせていただいております。

以上、簡単ではありますが、報告とさせていただきます。

今の報告ですけれども、何かご質問等はございませんでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 では、ないようですので、次に日程第5、付議事項(1)、議案に移ります。

議案第29号、令和6年度野洲市一般会計歳入歳出決算のうち教育委員会所管の決算の認定について、説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

議案第29号、令和6年度野洲市一般会計歳入歳出決算のうち教育委員会所管の決算の認定について説明いたします。本議案につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、令和6年度野洲市一般会計歳入歳出決算のうち教育委員会所管の決算の認定について意見を提出するものです。

議案書1ページから7ページ、議案書関係資料は1ページから23ページです。

また、令和6年度決算におけます教育費の不用額の内容については、別紙を添付させていただいております。

それでは、議案書関係資料1ページから施策の成果及び予算執行の実績報告書のうち主なものについて、説明いたします。

議案書関係資料3ページ左、通学通園バス運行費では、遠距離通学通園者の安全確保並びに通学通園時間緩和のため、バスを運行しています。

また、老朽化が進んでおりました通学通園バスの車両更新を行いました。主な支出は、バス運転委託料3,015万4,300円、車両購入費用2,819万2,530円です。主な特定財源は、県支出金とその他まちづくり基金繰入金です。

3ページ右、教育振興事業費では、特別支援教育、生徒指導の充実、不登校児童生徒への支援、国際理解教育の推進、学校安全体制整備事業など、児童生徒及び教員の学習支援に取り組んでいます。主な支出は、学校における学習者用端末を活用した授業支援、教員へのICT研修、機器の不具合、対応管理などの支援を行える専門知識を持ったICT支援員を学校に配置し、ICT教育の推進を図る目的で委託料1,693万5,480円、また小中学校教科用図書及び教師用指導図書の購入代781万8,616円です。主な特定財源は県支出金です。

7ページ左、ふれあい教育相談事業費では、こころの教育相談では不登校やいじめの問題を抱えている小中学校の児童生徒や保護者を対象にカウンセリングを行っています。カウンセラー2人が延べ1,169件のカウンセリングを行いました。主な支出はスーパーバイザー講師への謝金3万6,720円です。

次に、8ページ右、小学校施設整備費では、小学校施設の適正な維持管理及び児童が安全で安心できる良好な学習環境の整備に努めたものです。主な支出は中主小学校新館棟大規模改修工事において、工事請負費5億1,272万1,000円、仮設校舎の賃借料3,875万8,500円。また、祇王小学校と三上小学校の特別教室空調設置工事及び祇王小学校体育館照明のLED化工事として、工事請負費4,271万7,400円です。主な特定財源は、国庫補助金とその他まちづくり基金繰入金です。

続きまして、11ページ左、幼稚園施設整備費では、公立4園の施設修繕などのほか、野洲幼稚園のPFI施設整備委託料に係る費用を支出いたしました。

次に、13ページ左、地域学校協働活動事業費では、地域と学校とが一体となって子どもたちを育むためのコミュニティ・スクールを推進するため、地域と学校をつなぐ役割を担う地域学校協働推進員の資質向上や情報交換を目的とした連絡協議会の報酬170万3,000円を支出いたしました。

また、家庭を取り巻く環境が多様化する中、不登校の児童生徒の増加、地域からの孤立、自ら学びや相談の場にアクセスしにくい家庭への対応など、支援の必要な家庭への関わりを充実させるため家庭教育支援員を配置し、その報酬126万9,600円を支出いたしました。主な特定財源は県支出金です。

次に、15ページ右、図書館管理運営費では、市民が安心して図書館を利用できるよう施設の維持管理業務等、適切な図書館運営に努めました。主な支出は、空調設備の更新工事に伴う工事請負費1億3,303万6,200円と、その工事の管理業務委託料275万円です。主な特定財源は市債です。

次に、17ページ右、文化財保護調査事業費では、指定文化財を保存するため所有者が修理や適正な維持管理に利用する経費に対し事業費の一部を補助しました。主な支出は、国宝御上神社本殿のほか4棟の防災施設整備事業補助金1,069万円と野洲市文化財保存活用地域計画策定支援業務委託料485万1,000円です。主な特定財源は国庫支出金です。

次に、19ページ右、永原御殿跡保存整備事業費では、野洲市永原御殿跡調査整備委員会の指導助言を受け、本丸、御年寄衆之湯殿跡の発掘調査を実施し、現地説明会を開催するなど、史跡の公開活用にも努めました。また、発掘調査体験永原御殿跡フォーラムを地域との協働共催により実施しました。史跡地の公有化につきましては、不動産鑑定評価などに係る業務委託を行い、史跡指定範囲のうち127.56平米の用地を購入しました。主な支出は発掘調査体験教室の実施に伴う木竹伐採、搬出処分業務の委託料149万7,940円、史跡地公有化に伴う不動産鑑定委託料102万800円と土地購入費115万9,520円です。主な特定財源は、国庫支出金及び市債です。

次に、20ページ左、永原御殿跡保存整備事業費繰越では、史跡公有化で令和5年度当初に計画していた分のうち一部令和6年度への繰越しを行い執行いたしました。

同じく20ページ右、博物館管理運営事業費では、博物館の維持運営管理のための保守点検の実施、また歴史学習拠点としての活用を推進しテーマ展示などを開催しました。主な支出は、排煙設備など設備修繕費193万194円、空調設備やエレベーターなど施設維持管理などの保守業務委託料271万8,840円です。主な特定財源は使用料、手数料です。

次に、23ページ右、給食センター施設管理費では、給食センターの適切な運営を行うため、学校給食センター運営委員会献立検討部会物資選定部会を開催いたしました。また、令和5年度から3か年にわたる給食センター改修工事の工事請負費や工事管理業務委託料、日常の調理業務に要する経費を支出したものです。主な支出は、消耗品費665万4,696円、ガス代など燃料費1,387万327円、光熱水費3,025万2,631円、工事請負費5億7,691万9,000円です。主な特定財源は、市債及びまちづくり基金繰入金です。

説明は以上です。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第29号について、ご質問等はございませんか。

瀬古委員。

【瀬古委員】 不用額の内訳をせっかく添付していただいているので、それについての説明をお伺いしたいと思います。

それと、細かい話で13ページのコミュニティ・スクールですが、家庭教育支援員さんを10人雇用して、延べ1,700時間、その報酬費が126万9,600円ということです。この126万9,600円を1,700で割ると746円になると思います。この746円というのは最賃よりも少ないのではないかと思います。こここのところの説明をしていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

【北脇教育長】 では、大きく二つあるんですが、どちらからでも。よろしいですか。不用額について。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。

不用額につきましては、およそ50万円以上のものを費目ごとに担当課で抽出し、この表にまとめさせていただいております。トータルとしまして、不用額は2億2,463万1,014円となっております。

大きく工事費などにつきましては、土地の購入費もそうですけれども、予算額に對しましての執行残というところでまとめさせていただいております。

人件費につきましても、なかなか思うように雇用ができなかつたりというところが大きいと思います。例えば小中学校のところにも会計年度など配置をさせていただいていますが、トータルとしましては、教育振興費で970万ほど執行残とはなっておりますけれども、各校でいきますと、執行残としましては100万円余りかなというところ。年度当初にこの方については何時間までということで、学校のほうでお願いをさせていただいた範囲内でお勤めいただいているという現状ではございます。

見た目は多くなっていると思ったださるかもしれませんが、各校につきましては万が一のことも対応させていただくための賃金というものを、一定確保しないといけなかなというところで、決算額が余っているというところが現状です。

以上です。

【北脇教育長】 では、もう一つ。

蜂屋参事。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課参事・蜂屋です。よろしくお願ひします。

家庭教育支援員さんにおきましては、教育委員会から委嘱をさせてもらっており、1時間800円で従事していただいております。136時間分で支出のほうは126万9,600円という支出の結果となっております。単価800円です。

【瀬古委員】 まず、不用額の2億2,400万は、非常に多いですね。主な不用額は人件費ですよね。この表によると。

当初予算に計上していたとおり人員が確保できなかったのですね。そうであっても、6月補正、9月補正、12月補正、2月補正をしてきているわけです。2月補正以降で2億2,400万円生じているわけです。当初予算との差ではないのです。2月補正ぎりぎりのところまで精査し補正したはず。にもかかわらず、2億2,400万円、予算の総額が43億ほどで、そのうちの2億2,400万、5%ぐらいが不用額になっているわけです。こういう予算の使い方というのはどうかと思わざるを得ないです。2月補正で落とすべきものはきちっと精査して、それで決算をするというのが筋かなと私は思いますので、それに対する考えを聞かせていただ

きたいのが一つ。

それから、2問目の話です、これは単純に割ったら1時間あたり746円ですが、800円を支払っているという話です。滋賀県の最賃はいくらですか。

【蜂屋生涯学習課参事】 最低賃金は1,016円です。

【瀬古委員】 最賃よりも低い賃金で雇うということについてはどうなんですか。何のための最賃かということです。

今回、全ての府県で1,000円は上回るようになるのです。滋賀県は去年時点で1,000円を超えています。最賃を大きく上回る雇い方はどうかということをお聞きしたいと思います。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課参事・蜂屋です。

国県要望のときも同じことを県のほうには要望はさせていただいたんですけども、この県支出の規約のほうで上限800円となっております、その上限でお願いしているというところですよ。

【瀬古委員】 これは野洲市独自で決めている額ではなく、その補助金を最終的に県からもらうという、その要綱の中で単価が定められている。だから、これは結局、市の問題ではないと、そういうことをおっしゃっているわけですか。

【蜂屋生涯学習課参事】 そうですね。それ以上の単価の調整というのは、市のほうではできないようになっていると理解しています。

【瀬古委員】 もちろんそれ以上払えば、それは市の持ち出しになると思うのですが、ほかの市も押し並べて県の定める単価によっているわけですか。一応、確認をしておきます。

【蜂屋生涯学習課参事】 そのようにどこの県も、この家庭教育支援員という制度で動いていただいている方については、800円で働いていただいております。

雇用の賃金ではなく、報償費という形でお支払いをさせていただいています。

【瀬古委員】 報償費は、最賃の制限を受けないということですか。

私の印象としては、非常に安い報酬で頑張っていただいているのだなと。もしそうならば、やはりそれは実態と合わないのではと思うのです。そんな安い報酬ではね。支援活動をしていただいているわけですから、ぜひとも待遇が改善されるよう野洲市として今後も強く求めていただきたいと思います。

以上です。

【北協教育長】 では、1点の不用額の補正の考え方。

川崎次長。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。

おっしゃってくださっておりますように、不用額としてちょっと額的にも大きいかなと思いますので、財政課とも相談しながら検討は進めさせていただきたいと思います。

【瀬古委員】 確認しておきますが、これは財政課の指導の下に不用額を出しているわけではないですよね。教育委員会が必要な額を予算化して、使わなかったものを不用額ということですから、財政課と相談するというのは意味が分からないですが、教育委員会として適正に予算管理して2月補正で本来はきちっと精査すべきだと思います。

【北協教育長】 よろしいですか。

では、ほかにご質問ございません。

山崎委員。

【山崎委員】 先ほどご説明いただいた、ふれあい教室相談事業の中で、カウンセラーお2人で1,169回の相談数をこなしていただいているというふうにお聞きしました。この表を見せていただいたときに、令和5年から令和6年にかけてどの項目も数値が倍増しているなと感じたのですが、令和6年度は令和5年度に比べてカウンセラーの方の数とか対応していただける時間が増えたのでしょうか。

【堀ふれあい教育相談センター所長】 ふれあい教育相談センター・堀です。

令和5年度と令和6年度につきましては、カウンセラーは同じく2名で、勤務時間等は変わりありません。

今年度、令和7年度に1名の勤務日数が1日増えたという状況です。

以上です。

【山崎委員】 ありがとうございます。

増えたとお聞きしたのがどの時点だったか確認させていただきました。令和6年度は実人数にしても回数にしてもかなり増えたのを同じ人数で回っていただいたというのは、大変な状況だったんだと、この数字を見て改めて感じさせていただきました。そのうえで、今年度1人増えたということは、受け皿がさらに広がるということでありがたと思いますし、ニーズに十分こたえていただけていると思います。

【北脇教育長】 ほかにございませんでしょうか。

南出委員。

【南出委員】 私も7ページの左側、大幅に令和6年度に相談件数が増えているということが気になりました。

それと、右側のドリームですが、令和5年度から令和6年度も出席数が大幅に増えております。こちらに関しては今年度、倍以上増えているんですけども、令和7年度は現状としてもまた増えている状態なのかどうかを教えてくださいませんか。

【堀ふれあい教育相談センター所長】 ふれあい教育相談センター・堀です。

ドリームの利用者につきましては、1学期は申請が14名ほどと聞いております。昨年度並みなのですが、昨年度の中学校3年生が進路選択が迫られる2学期以降、また子どもたちの問題行動などが出始める2学期後半辺りから増えてくるというふう聞いておりますので、昨年並みかなというふうには考えておりますが、ちょっと余談を許さない状況かなと思っております。

以上です。

【南出委員】 ありがとうございます。

7ページ左も右も令和5年度から令和6年度で相談件数が増えている状態なんですけれども、これは相談しやすい環境になっていると解釈したらよろしいでしょうか。

【堀ふれあい教育相談センター所長】 ふれあい教育相談センター・堀です。

昨年度から周知をするのに紙資料だけでなく、アプリでtetoru配信を行っております。今年度につきましてもタイミングを見て行っているところなのですが、手一つは保護者のほうに直接周知をアプリで行っているということ、あと施設が新しくなりましたので、比較的美丽な施設、それを見てちょっとこういうところであれば利用してみようかなという、利用者の方からしましても訪問しやすいような施設になったということも大きな理由の一つかなと思います。

以上です。

【北協教育長】 よろしいでしょうか。

では、他にございませんでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、これより採決に移ります。

議案第29号、令和6年度野洲市一般会計歳入歳出決算のうち教育委員会所管の決算の認定について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第29号は可決されました。

次に、議案第30号、令和7年度野洲市一般会計補正予算(第4号)のうち教育委員会所管の予算に関する意見について、説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。

議案第30号、令和7年度野洲市一般会計補正予算(第4号)のうち教育委員会所管の予算に関する意見について説明いたします。議案書は8ページから、議案書関係資料は31ページからです。

議案書8ページをご覧ください。本議案については、教育行政の組織及び運営に関する法律第29号の規定に基づき、教育委員会所管の予算案について意見を提出するものです。

提出理由にありますように、今回の補正予算では、野洲市一般会計歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億8,204万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額270億7,306万8,000円とするものです。そのうち歳出の教育費予算として歳出予算総額に437万円を追加し、教育費算出総額を38億8,750万8,000円とするものです。

令和7年度予算8月補正案(第4号)の内容につきまして説明いたします。議案書関係資料は24ページから、款10、教育費は31ページです。

目、小学校管理費、事業名3、小学校施設整備費では、市内各小学校において緊急を必要とする修繕対応に伴い、今後の修繕に対応する予算が不足することが見込まれるため、修繕費351万2,000円を増額補正するものです。

次に、目2、市立幼稚園費、事業名1、市立幼稚園運営費では、子ども・子育て支援新制度以降、幼稚園の預かり保育の利用者増に伴い、施設等利用費を64万8,000円増額補正するものです。

なお、特定財源として、国庫に支出金・県支出金における子育てのための施設等利用給付交付金を充てており、国庫支出金は32万4,000円を、県支出金は16万2,000円をそれぞれ充当するものです。

次に、目、社会教育総務費、事業名4、地域学校協働活動事業費では、学校・家庭・地域連携協力推進事業のうち、地域学校協働活動推進員の配置に係る経費に対する県補助金の内示額に合わせ、県補助率3分の2に対する事業費として委員等謝礼20万1,000円を増額補正するものです。

なお、特定財源として、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金13万4,000円を充当するものです。

次に、目2、青少年教育費、事業名2、青少年教育事業費では、学校・家庭・地域連携協力

推進事業のうち、放課後子ども教室に対する県補助金の内示額に合わせ、県補助率の3分の2に対する事業費として、事業委託料9,000円を増額補正するものです。

なお、特定財源として、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金6,000円を充当するものです。

続いて、24ページ、3、債務負担行為のおうみ自治体クラウド図書館システム再構築事業に係る債務負担行為の追加につきましては、現在使用している図書館管理運営システムの契約が令和8年9月末で満了することから、次期おうみ自治体グラウンド図書館システム再構築に係るシステム使用料について設定するものです。

なお、期間は令和8年度から13年度までの5年間で、4,270万円を限度額とするものです。

以上、令和7年度野洲市一般会計補正予算（第4号）につきまして、教育委員会として適正と認めるというご意見を提出しようとするものです。

説明は以上です。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第30号について、ご質問等はございますか。

南出委員。

【南出委員】 ありがとうございます。31ページの地域学校協働事業費、委員等謝礼というふうになっているんですけども、この委員等の等は委員以外に何か謝礼をされているということですか。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課・蜂屋です。

枠としてこういう枠があるだけで、ほかにはいらっしやらないです。

【南出委員】 ありがとうございます。

そうしますと、今までがちょっと認識不足なんですけれども、活動自体には予算というものは上げられていなくても、委員の方のみに上がっているものなんですか。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課・蜂屋です。

委員にのみかかっている費用というか、項目です。

【南出委員】 ありがとうございます。やはり活動自体にも予算がなければ動きたくても動けないのが実情かなと思ひまして、逆に地域学校協働活動に関わっている皆さんは、どういった形で活動を進めていらっしやるものなののでしょうか。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課・蜂屋です。

またこれとは別に推進補助金が各校5万円があるのと、あとは学校で別項目から出ているお金とかをそちらに充当して活動の費用にされています。

【北協教育長】 よろしいでしょうか。はい。

では、ほかにごさいませんでしょうか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

【北協教育長】 では、ほかには質問がないようですので、これより採決に移ります。

議案第30号、令和7年度野洲市一般会計補正予算（第4号）のうち教育委員会所管の予算に関する意見について、賛成の方の挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第30号は可決されました。

次に、議案第31号、野洲市外国語指導助手就業規則を廃止する規則について、説明をお願い

いします。

荒川課長、お願いします。

【荒川学務課長】 学務課・荒川です。

議案書12ページをご覧ください。野洲市外国語指導助手就業規則を廃止する規則についてご説明をさせていただきます。

過去におきましてはジェットプログラムを活用したALTの配置をさせていただいており、そのため、野洲市外国語指導助手就業規則を制定しておりました。

しかしながら、ジェットプログラムを活用したALTの導入につきましては、生活サポート全般の支援を市が担わなければならない、負担が大きい事業であることから、本市では令和7年度から民間事業者による派遣業務委託を活用した配置をしておりますことから、今後におきましてもこのジェットプログラムを活用することは想定をしておりませんので、本規則を廃止するものでございます。

【北協教育長】 では、ただいま説明がありました議案第31号について、ご質問等はありませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、これより採決に移ります。

議案第31号、外国語指導助手就業規則を廃止する規則について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第31号は可決されました。

次に、議案第32号、野洲市立学校管理運営規則の一部を改正する規則について、説明をお願いします。

荒川課長、お願いします。

【荒川課長】 学務課・荒川です。

議案書14ページをご覧ください。先ほどお認めをいただきました野洲市外国語指導助手就業規則の廃止に伴い、関連いたします外国語指導助手についての派遣に基づく廃止となることから、規則に規定しております職員には該当しないということで、第16条第2項中、外国語指導助手及び第20条を削除する一部改正を行うものです。

以上、説明とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第32号について、ご質問等はありませんか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、これより採決に移ります。

議案第32号、野洲市立学校管理運営規則の一部を改正する規則について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第32号は可決されました。

次に、日程第6、報告事項に移ります。」

報告事項①、はつらつ野洲っ子中学生広場「私の思い2025」の結果について説明をお願いします。

蜂屋参事、お願いします。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課・蜂屋です。

報告事項の1ページをご覧ください。はつらつ野洲っ子中学生広場「私の思い2025」の結果について、ご報告いたします。

この事業は、中学生の意見発表の場として毎年開催していますが、今年度は7月5日土曜日の午前10時45分から野洲文化小劇場で開催しました。163名の方が参加されました。市内中学校3校から選ばれた9名が作文の発表を行い、発表者やタイトル、審査結果は表に記載されたとおりです。

優秀賞受賞者のうち審査にて県広場への出場候補者に、中主中学校3年生の田中杏菜さんが選ばれました。結果として残念ながら県の出場はなりませんでしたが、この日、163名の方とともに子どもたちの意見を聞いて、趣旨のとおり行事を開催することができました。

以上、報告申し上げます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項①について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項②、まちぐるみで愛の声かけ運動7月実施報告について、説明をお願いします。井狩課長、お願いします。

【井狩生涯学習課長】 生涯学習課・井狩です。

報告事項②、2ページをご覧ください。まちぐるみで愛の声かけ運動について、ご報告を申し上げます。

7月の青少年の被害・非行防止全国強調月間に合わせて、野洲市青少年育成市民会議の取組といたしまして、地域の方、そして学校関係者、警察などと協力いたしまして、登校時の児童生徒に声かけ運動を行ったものでございます。

今回は、7月1日火曜日、朝7時30分頃から市内全体で817人の方が参加をされました。当日、市長におかれましては篠原小学校で、教育長におかれましては祇王小学校で声かけを行っていただきました。

次回につきましては、11月4日火曜日になりますけれども、滋賀県こども・若者の育成支援推進強調月間に合わせまして声かけ運動を実施するものでございます。

参加者の主な意見といたしましては、一番最初に書かれておりますけれども、早朝より交差点など様々な場所で、見守り、声かけいただいている多くの地域の方々がおられることを改めて実感した。子どもたちの元気な姿にこちらも元気をもらい、気持ちのよい1日をスタートできたというようなご意見をいただいております。

なお、地域の方から当該取組に対して率直な意見をいただいております。その中でも、交通、あるいは安全性、道路構造上のことなどにつきましては、担当する所管、部局に引き継ぎをしているものでございます。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 では、ただいま説明がありました報告事項②について、ご質問等はありませんか。

瀬古委員。

【瀬古委員】 参加人数ですが、昨年度よりも増えているところもあるのですが、祇王学区は極端に減っています。その要因としては7月1日という日が猛暑のために、体調を考慮して参加を控える方が多かったと推測されると記述されていますが、祇王学区だけ特に減っているという特異な状況があったのかということと、猛暑の日を避けてもう少し早い時期にしたほうが良いのではないかという意見もあるのですが、そのことについてどう考えていますか。

【井狩生涯学習課長】 今、いただきましたご意見につきまして、猛暑の体調管理につきましては、これは全般の話でございます。祇王に限った話ではございませんので、祇王だけ人数が少ないという要因につきましては、一定7月中の報告ということで、各学区から参加人数の報告いただくようお願いをしているところでございますけれども、ちょっと祇王のほうはまだ全て出切っておらないところでございます。少し8月になってからまだ報告いただいているところもございまして、今回の報告事項に間に合わせるために一定この817人で締めたところでございますけれども、祇王のほうが人数報告が割と遅れているということもございまして、なぜ遅れているかということとはちょっと分からないんですけれども、まだ少しご参加いただいている数が増えてくるのではないかというような予測をしているところでございます。

以上でございます。

【瀬古委員】 分かりました。

それなら、そんなに急いでこの報告書を取りまとめなくても、祇王の報告が出そろってからもよかったのではないかという感じがします。いずれにしても、報告が全てそろっていない状況での報告という理解をすれば良いですね。

【北脇教育長】 では、ほかにご質問等ございませんか。

南出委員。

【南出委員】 まちぐるみでという名前がついているんですけれども、ここに参加されている方というのは、主に本当に地域の方なのか、何か例えば自治会の方、青少年育成会議に参加されているとか、そういう何か割り当てられている方が参加されているのか、どちらなんでしょうか。

【井狩生涯学習課長】 主に参加いただく依頼をこちらのほうからさせていただいております。自治会長、地域に対して依頼をさせていただくのと、それから各青少年の関係団体などに依頼をさせていただいております。その中で地域で誰が出ていただくかということは最終的には地域でお決めいただきまして参加いただいて、この人数ということになっております。

以上でございます。

【南出委員】 ありがとうございます。

そうしますと、自治会から順番に声かける、どういうルートでご案内が行くのか分かりかねるんですけれども、逆にいえば、多ければいいというわけではないんでしょうか。

【井狩生涯学習課長】 毎年、ご意見いただいている中に、交差点にあまり人が立ち過ぎておきまして、逆に子どもたちの通学の妨げになるというご意見がございます。もう少し大人が、通学路、長い距離がございますので、各ポイント、ポイントで1か所に固まらずに立っていただくほうが効率的であるというようなご意見もいただいておりますので、必ずしも

数を多く出していただくというところを求めているところではございませんので、またこれは地域とも相談させていただきましてお願いしたいなというように考えております。

以上でございます。

【南出委員】 ありがとうございます。

昨年度、交差点に固まられているというお話を伺ったんですけれども、子どもたちが通学をするのを見ていただくいい機会なのかなと。あいさつ運動もそうなんですけれども、例えば子どもたちがこの時間帯にこれだけ危険なところを通っているとか、いろんな部分で地域の方に見ていただくのもいいのかなと思ひまして、本当に固まっていた方がいいことではないかもしれないんですけれども、野洲市をあげて子どもたちを守っていかうという雰囲気運動というか、そういう日にできたら、もっと地域の方が子どもたちを守っていただけるいい機会になるかなと思ひますので、何かちょっと、集中しないということが前提にはなるんですけれども、幅広く周知いただけるのも一つの手なのかなとも感じました。

以上です。

【北協教育長】 よろしいですか。

では、ほかにもございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項③、令和8年度国県要望書提出報告について、説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。

報告事項③、令和8年度国県要望書につきまして、当日お配りさせていただいた資料となりまして申し訳ございません。6月教育委員会定例会において、要望内容についてはご報告させていただいておりますが、8月8日に県庁へ要望書を提出しましたのでご報告いたします。

概要は資料のとおりですが、全般としまして県としても財源の確保が課題であり、潤沢に予算があればというようなご回答でした。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項③について、ご質問等はございませんか。

【瀬古委員】 この国県要望については、単に要望しただけという報告でした。6月の定例会では要望内容の報告だったのですが、今回は要望内容と県の回答状況も報告していただきたかったと思います。こちらが期待するような回答がいただけないことは分かっていますが、これからも要望してどうだったかも大事なことなので、そのフォローはよろしくお願いします。

【北協教育長】 では、ほかにもございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項④、令和7年度野洲市内幼稚園・小中学校の運動会日程について、説明をお願いします。

中野課長、お願いします。

【中野こども課長】 こども課の中野でございます。

それでは、私から報告事項の④、資料4ページになります令和7年度野洲市内幼稚園・小中学校運動会の日程について、まとめてご報告させていただきます。内容につきましては、ご覧のとおりですけれども、簡潔に順を追って説明いたします。

まず、幼稚園のほうです。運動会の日程でございます。どの園につきましても、10月の土曜日に開催を予定しております。開催方法につきましては、3歳児さんから5歳児さんの全年齢で実施予定ということで、参観者の方の人数制限はございません。

ただし、北野幼稚園のみ2、3歳児で運動会を行った後、4から5歳児さんを行う入替えの2部制としております。

次に中段、小学校の予定でございます。小学校につきましては、10月と11月に開催と予定しております。おおむね土曜日に開催になるんですけれども、野洲小学校と北野小学校は平日の開催としております。

最後に一番下の中学校の予定でございます。中主中学校は6月に既に実施済みとなっております。野洲中学校と野洲北中学校は9月の平日にそれぞれ開催となります。

以上、簡単ではございますが、令和7年度幼稚園・小中学校運動会についてのご報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項④について、ご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項⑤、野洲市教育大綱について、説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。

報告事項の5ページをご覧ください。本案件につきましては、教育委員様には7月15日の総合教育会議においてご協議いただきまして、ありがとうございます。総合教育会議後、委員のご意見を踏まえまして、基本理念のサブテーマ「一人ひとりが大切にされ、おとなも子どもも学びあうひとづくり・まちづくり」の「おとなも子どもも学び合う」のところを「すべての世代が活躍する人づくり・まちづくり」としたもので市長にご決裁をいただいておりますので、本日ご報告させていただきます。

今後のスケジュールにつきましては、本日の定例会、庁議を経て、9月の全員協議会にて報告、またホームページへの掲載を予定しております。

以上、報告させていただきます。

【北協教育長】 では、ただいま説明がありました報告事項⑤について、ご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項⑥、職員の任免等について、説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部次長・川崎です。

報告書の7ページをご覧ください。報告事項⑥、職員の任免等につきまして報告させてい

たきます。

まず、会計年度任用職員の新規採用者につきましては、フルタイム職員1人、パートタイム職員2人、計3人の採用を報告するものです。採用の所属及び期間等につきましては、記載のとおりでございます。

次に、退職者はございません。

次に、職員の許可承認等につきましては、正規職員5人、パートタイムの3人、計8人で、営利企業等従事許可承認を報告するものです。許可の機関等につきましては、記載のとおりです。

以上、報告させていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑥について、ご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に日程第7、その他事項に移ります。

何かございました。

では、井狩課長、お願いします。

【井狩生涯学習課長】 お手元に令和7年度野洲市生涯学習カレッジのご案内をさせていただきます。

まず、8月23日土曜日14時から歴史民俗博物館におきまして地域の方が講師になっていただきまして、「～地域と私とコミュニティ・スクールと～」というコミュニティ・スクール、今現在、地域でも話題になっておりますし、学校でも取組を進めておりますことにつきましては、実際に地域学校協働活動に携わっていただいております木村貞樹さんのほうにご講演、お話をいただきたいと思っております。それと、コーディネーターといたしまして、本野洲市の社会教育委員であります小澤さんのほうにも一緒にご参加いただきまして、進めたいと考えております。

それから、次に次回のその第2回の案内でございます。一緒につけております。9月20日土曜日10時30分から野洲図書館ホールのほうにおきまして、滋賀県立大学の地域共生センター特任講師であります上田洋平先生にお越しいただきまして、ご講演をいただきたいと思っております。この上田先生につきましては、地域の取組につきまして教育研究分野とされております。この先生につきましては、県のほうの社会教育委員大会のほうでもご講演いただいております。昨年も一昨年も上田先生に県のほうでご講演いただいているというところの実績もございます。このたび、野洲市のほうでも声かけをさせていただきましたところ、快く引き受けていただきましたので、9月20日に講演をいただくという予定をしております。

また、機会がございましたらご参加いただきますようお願いいたします。

以上でございます。

【北協教育長】 ほかにございませんでしょうか。

早田館長。

【早田野洲図書館長】 図書館長・早田でございます。

図書館からは「としょかんで夜ふかし」についてのご案内になります。委員の皆様のお手元にはチラシ配ってあるかと思えます。

「としょかんで夜ふかし」は毎年、この9月に開催している夜間開館イベントということで、通常6時までの開館となっておりますが、この日のみ延長戦ということで6時半から夜10時まで夜の間に、開館するという事業になります。

今年につきましては、「ずくぼんじょ “おはなし”のおはなし会」と題しまして、絵本などの読み聞かせとはちょっと違うんですけども、お話を覚えていただいた演者さんが声だけの語りでお話を語っていただくという語りの会を開催するというのが今年の特徴となっております。

そのほか、書庫開放につきましては、例年どおりの人気の企画となっております。

また、工作としまして魔法のしおりづくりというのを今回企画しているんですけども、リーディングトラッカーといいまして、ちょっと文字を読むのが難しい、学習障害をお持ちの方には特に効果があるものになるんですけども、1行だけ文書が見えるようクリアファイルを切って、端だけマスキングテープで隠したようなものをしおりとしてつくらせていただいて、それを読書のほうに活用していただこうと、そういうことを今回は企画しております。

こちらにも特に申込み等が必要ない催しとなっておりますので、お時間、もしよろしければお立ち寄りいただけると幸いです。

図書館からは以上です。

【北協教育長】 では、ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に日程協議に移ります。

まず、9月定例会は9月17日水曜日午後1時30分より、ふれあい教育相談センターで開催しますので、よろしくお願いをいたします。

次に、10月定例会についてお伺いをします。10月定例会は10月15日火曜日午後1時30分より、歴史民俗博物館で開催したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ご異議ないようですので、10月15日水曜日午後1時30分より、歴史民俗博物館で開催しますので、よろしくお願いたします。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

— 了 —